



八代市地域学校協働本部（生涯学習課内）

令和6年7月3日発行 番号0965-30-1110



復活・前進、そして活性化！ ポストコロナでの地域学校協働活動

新型コロナウイルス感染症が昨年の5月から5類感染症に移行し、人々の生活様式もだいぶ以前のものに戻ってきた感があります。

さて、今年度も八代市内の小・中・特別支援学校で地域学校協働活動がスタートしました。これまで、各学校でも様々な工夫をこらしながら協働活動を続けてこられ、徐々に以前のような活動ができてきているように感じられます。

これからもアイディアを出し合いながら、軌道に乗ってきた活動を更に活性化させていくことで、子供たちに様々な体験を通じた学びを提供し、「生きる力」や「ふるさとを大切に思う心」を育てていきたいと思います。

子供たちは、「学校での教科等の学習から得られる学び」「体験することを通じて得られる学び」「大人や地域の人たちの活動する背中を見て得られる学び」の3つの学びから成長していきます。そういった意味からも、この「地域学校協働活動」は大切な役割を担っていると思います。

今後も、地域・保護者の皆様のご理解とご支援、ご協力を宜しくお願ひいたします。

【今年度もすでにいろいろな活動が行われています。】



《代陽小・交通教室》



《郡築小・1年公園探検見守り》《宮地小・米づくり：種粒の選別》



《二見小・雨乞い踊りの指導》



《有佐小・図書の整備活動》



《文政小・玉ねぎの収穫》



《泉小・お茶摘み》

地域学校協働活動では、「子供たちへの効果」とともに、「地域の皆さんのが元気にな！」なっていただくことも大切です。子供たちが地域の方と触れ合い、地域の方々の姿や思いを知ることで、地域を大切にしようという思いを持ってくれることにつながり、ひいては地域の活性化につながればというねらいもあります。子供たちと地域と両方にとて WIN-WIN となること、それもこの活動の目的です。



令和6年度第1回八代市地域学校協働本部会議を開催しました。

5月21日（火）午前10時から、八代市公民館において八代市地域学校協働本部の第1回会議を開催しました。

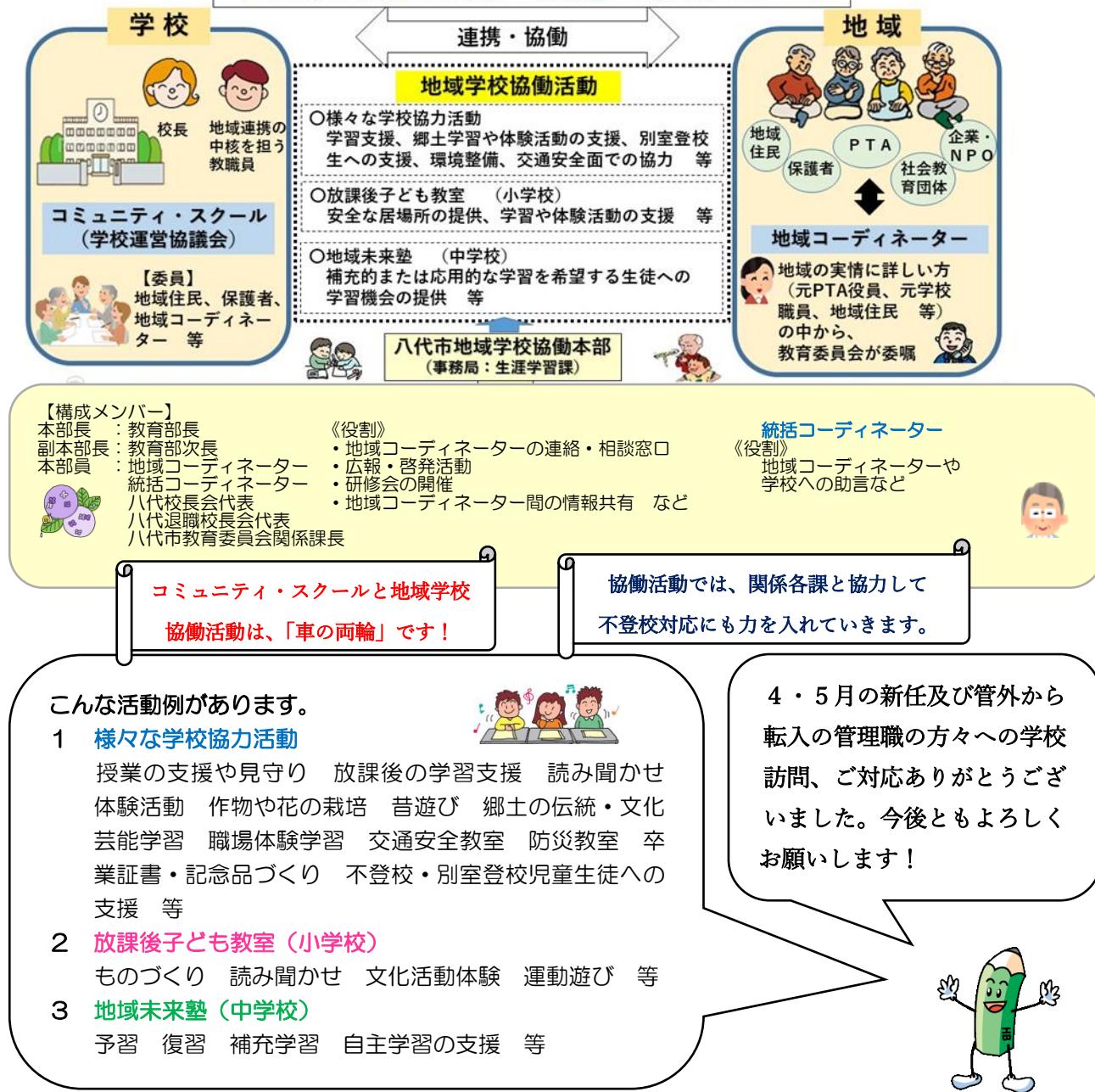
会議には、本部長（教育部長）をはじめとする八代市教育委員会関係者、地域コーディネーター・統括コーディネーター・八代校長会代表・退職校長会代表が参加しました。

地域コーディネーターへの委嘱状交付後に議事に入り、八代市地域学校協働活動（推進体制や地域コーディネーターの役割・活動の流れ等）や本年度の事業計画（活動内容や強化事業等）についての説明を行いました。

その後、地域コーディネーターの連絡調整会議に入り、意欲的で活発な意見交換が行われました。新任の方をはじめ、地域コーディネーターのみなさん、1年間お世話になります。



「地域と学校の連携・協働」の体制イメージ



つなぐ

八代市地域学校協働本部（生涯学習課内）

令和6年9月12日発行 ☎0965-30-1110

「みんなが幸せな地域って？」



ワールドカフェで話し合おう！

「八代市地域学校協働活動 ワールドカフェ」を、8月6日（火）に八代市公民館で行いました。今回は学校職員と地域コーディネーターとの交流が主な目的で、小学校職員18名、中学校職員10名、地域コーディネーター10名の計38名の参加があり、「みんなが幸せな地域って？」というテーマについてそれぞれの立場から意見交換がなされました。

今回の会議は、表題にもあるように「ワールドカフェ」方式で進められ、いつもの会議とはまた違ったリラックスした雰囲気の中で和気あいあいとした話し合いが行われました。

「ワールドカフェ」ってなあに？

カフェのようなリラックスした雰囲気で、少人数に分かれたテーブルで特定のテーマについて対話し、他のテーブルとメンバーを交代して対話を続けるという対話手法じゃ。参加者全員が対話を通じて知識や意見を共有し新たな視点を得たり、アイデアを生み出したりすることが目的なのじゃ。

雰囲気もカフェっぽく

どんどん意見が出ています

好きな飲み物も持ち込んで、和気あいあいとした話し合い

グループを変えて話し合い

最後は話し合いの結果をシェア

参加者の感想をいくつかご紹介します。

- 楽しかったです。リラックスした雰囲気でおしゃべりができました。今後やってみたいことが分かった気がします。（地域コーディネーター）
- 様々な地域・立場の方と話せてよかったです。参考になる視点ももらえたので、本校でもさらに地域とのつながりを深めていきたいです。話す時間が多かったのが何よりでした。（教職員）
- コーディネーターが学校の役に立ちたいという思いがよく伝わった。みんなで郷土を愛する子を育てていかなければならぬと感じた。（教職員）

地域学校協働活動 ~夏の活動のひとこま~

日奈久中：夏の俳句教室(7/11・18)



【講師の先生から説明を受け】 【具体物からイメージを膨らませ】 【いよいよ俳句の作成です。】

植柳小：植柳ふるさと祭り(8/14)



会場に飾られた竹灯籠

【今年度から創設の「盆踊りクラブ」で保存会の方の指導を受けて練習】

【祭り当日は、児童が歌い手や踊り手で練習の成果を披露】

【希望する子供たちによる、祭りの会場に飾る竹灯籠づくり】



夏季休業期間中の学校訪問、お世話になりました！



夏季休業期間を利用し、今年は全部の小・中・支援学校を訪問させていただき、地域学校協働活動の進捗状況や困っておられることなどについてお話を伺いました。

学校からは校長先生・教頭先生・協働活動担当の先生に参加していただき、ざっくばらんに忌憚のないご意見をいただくことができました。

全体的に、どの学校も計画に沿って実践が進められており、特に、地域コーディネーターの方のきめ細かな支援に感謝する声が多くの学校からあがりました。地域コーディネーターの皆さん、それぞれの学校の子供たちに対する愛情や、学校と地域とをつなごうとする意欲をひしひしと感じたところです。また、それが学校職員の負担軽減にもつながっているというお話を伺え、地域学校協働活動の様々な効果を改めて再確認しました。

しかし、「学校にいろいろな方々が来ていただいてありがたいが、子供たちが地域に出かけていくのが難しい。移動手段がほしい。」とか、「来ていただいた方々に対して報償費はあるが、お茶などを出す予算がなくて困っている。」といった声もありました。予算が絡むもの、地域学校協働活動の事業対象ではないものなどについてはそのご希望に応えられないことがあります、非常に心苦しく思いますが、私たち本部も可能な範囲でできるだけの支援をしていきたいと思います。

今回の学校訪問で、各学校の様々な声を聞かせていただきとても参考になりました。ご多用な中ご対応いただき、本当にありがとうございました。

【編集後記】 子供たちの息遣いを直に感じたり、地域コーディネーターさん、センターさん、先生方の思いに接したりしたいなと思っています。可能であれば授業や事業の様子を参観させてください。
連絡をお待ちしています。(30-1110) (事務局より)

つなぐ

八代市地域学校協働本部（生涯学習課内）

令和6年12月2日発行 ☎0965-30-1110



秋の活動、各学校で活発化！



2学期も後半を迎える、各学校では運動会・体育大会や修学旅行等、様々な行事が行われてきていると思います。そういった中で、地域学校協働活動もそれぞれの学校で工夫した取り組みが行われております、活性化が図られています。今回は、4つの学校の活動を紹介いたします。

また、各学校の地域コーディネーターの皆様には、活動の情報提供、ありがとうございました。本部からも参観させていただきましたが、サポートの方々が子供たちの学習活動に対して支援されている様子を実際に見ることができ、学校と地域とが密接に関わり合っていることを改めて感じたところです。特に今学期は、家庭科のミシンや調理での支援がかなりの学校で行われており、子供たちや担任の先生方にとて、そういったサポートがなくてはならないものになってきているように思いました。本当にありがとうございます。

これからもできるだけ多くの学校の活動を紹介していきます。よろしくお願いします。

【第二中学校】

「いきいきサロン」



3年生が総合的な学習の時間を使い、校区の各会場に出かけて地域の高齢者の方々と交流活動を行いました。

活動内容は、高齢者の方々が生き生きと活動できるよう、左の写真にあるように

「カードゲーム」「ペットボトルボウリング」「福笑い」など、無理なく体を動かせるものや記憶力を使うものを選びました。

すてきな笑顔が
いっぱいですね！



【生徒の感想から】

- いきいきサロンは私たちにとって初めての体験だったので、少し緊張しました。地域の方々と楽しく交流するために、一から計画して自分たちで道具を準備したりして交流できてよかったです。地域の方たちは私たちを温かく見守ってくれて、私たちも準備や進行がしやすかったです。また機会があれば参加したいです。
- 活動を振り返って、初めて地域の人たちと交流して、とても楽しかったし、また行きたいなと思いました。次機会があるときはもっと大きい声で話したり、目線の高さを同じ高さにしたりすることを意識していきたいです。

【運営の方々から生徒へのメッセージ】

- 事前に学習していたとおり、高齢者に対してゆっくり話す、大きな声で話すなど、やさしい交流をしていたのが印象的でした。
- 一人暮らしや高齢者世帯も多く、子どもたちと接したり話したりする機会も少ない日々の中、いきいきサロンを実施することができて本当に良かったと思います。子供たちに元気をもらって、いきいき楽しく遊んでおられる様子を見て、この企画に参加したことの喜びを感じました。

【八代小学校】 「クラブ活動」



地域の方々のパワーがあふれています。



「書道クラブ」



「茶道クラブ」



「華道クラブ」

クラブ活動において、積極的に地域の人材を活用して活動を進めていくことで、自然や文化との触れ合いや地域の人々との幅広い交流などを通じ、子供たちに充実した自然体験や社会体験等を提供できたらと考えています。

【松高小学校】 「町には はっけんがいっぱい」



10/24、2年生の生活科において、校区のお店などに行って仕事の様子や工夫について話を聞き、校区内のことを探ることで、町への親しみと愛着を深め、働く人や町の中の施設に関心をもつことを目的として実施しました。保護者や地域ボランティアの方々のご協力をいただき、5カ所の探検場所をグループごとに訪問。子供たちは、「うわ～」「これは何ですか」「質問してもいいですか」などと興味津々の様子で、各訪問先での新たな発見に目を輝かせていました。探検先では、お店の裏側や厨房の様子、その仕事の魅力や大変さについて学び、多くの発見があったようです。今後、子供たちは今回の探検でメモした内容や自分の目で見たことを整理し、12月の授業参観での発表に向けて準備を進めます。

【文政小学校】 「文政っ子夢セミナー」



市役所



警察



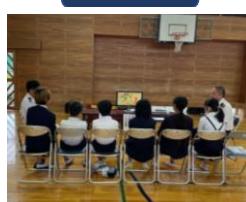
建築



消防



テレビ局



自衛隊



農業



介護・看護

6年生を対象に、様々な職業に従事する方の話を聞き、身のまわりの職業への関心を高め、夢や希望をもって自己実現を図ろうとする意欲を育てることを目的として実施しました。公的機関や地元企業を含む8職種の方々を講師としてお招きし、仕事についての話をしていただきました。児童からは、「いろいろな仕事について知らなかつたことが知れてよかったです」「働いている人の話を聞いて、ぼくも人のためになる仕事をしたいと思った」「なりたい仕事についてもっと知りたいなと思った」などの感想が出されました。また、講師の方からも「子どもたちが真剣に聞いて質問してくれたのでとてもうれしかったです。私たちの方が元気をもらいました」との声をいただきました。

つなぐ

八代市地域学校協働本部（生涯学習課内）

令和7年3月10日発行 番号0965-30-1110



今年度の活動、ありがとうございました。 ～これからの更なる充実に向けて～

早いもので、令和6年度も終わろうとしています。各学校、活発で工夫された活動の数々、本当にありがとうございました。本部職員も現場に出かけていき、活動の様子を見せていただきながら、子供たちの嬉しそうな様子や、支援していただく地域の方々が一生懸命関わってくださる様子に数多く出会うことができ、喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。これから来年度に向けて、より一層充実した活動になるよう、私たちみんなが力を合わせて取り組んでいきたいと思います。

さて、先日の第2回地域学校協働本部会議でもお伝えしましたが、コーディネーターの皆様や各学校に行ったアンケート調査の結果、本部への希望として多かったものが①「財源の確保」②「ボランティア人材の確保」でした。本部としましても、それぞれの内容について今後とも可能な取組を行っていきたいと考えています。

なお、②については、会議にて配付させていただきました「**令和6年度 ボランティア人材バンクガイドブック**」も活用していただければ幸いです。また、協働本部のライングループに地域コーディネーターの皆さんには参加されていると思いますが、これまでの活用の仕方としては、「活動したことの報告」が中心だったようです。それを**もう一步進めて、「こういった活動をするのに支援できる人を紹介してください。」といった、「助け合い情報交換」の場として**も使ってはいかがでしょうか。コーディネーターさん同士の横のつながりを強化するのにとても役立つと思います。

現在の課題をみんなで共有し、よりよい活動となるように、来年度も協力して頑張っていきましょう。

各学校の活動紹介です！

【八千代小】

2年生で行った、芋苗植え・芋料理づくりの様子です。地域の様々な方にご協力いただきました。



【八竜小・坂本中】

八竜小学校5・6年生と坂本中学校3年生で、郷土料理の1つである「だご汁」を作りました。教えてくださったのは坂本町生活研究グループ連絡協議会のみなさんです。



【千丁小】

「4年生 先人に学ぶ(千丁町の干拓歴史)」干拓にまつわる郷土芸能を、大鞆節保存会と女相撲保存会の皆さんをお招きして学習しました。



第2回地域学校協働本部会議・第5回連絡調整会議から



2月14日（金）、八代市公民館にて、地域コーディネーターを対象に標記会議が実施されました。まず本部会議では、事務局から令和6年度事業報告・アンケート調査結果報告・令和7年度事業計画提案がなされ、滞りなく承認されました。次に連絡調整会議では、八代教育事務所SSW（スクールソーシャルワーカー）の守田典子先生をお招きして、『昨今の児童生徒の不登校にまつわる姿と大切にしたい視点』と題しての講話を行われました。

講話では、現在の日本の中学生における不登校の状況をベースに、「なぜそういった状況になったのか」や「私たちがそのことをどうとらえるのか」「子供の育ちを支えるうえで私たちが何を大切にすればいいのか」といったことについて話があり、質疑応答では「地域の大人からは、子供たちの話し相手になつていいよ」というありがたい申し出もあるが、プライバシーの問題もあり、簡単にお願いできることではない。「どうしたらよいのか。」など様々な質問があり、この問題が各学校において非常に切実なものであることを表していました。

不登校問題については、児童生徒それぞれに違った背景や悩みがあり、これといった特効薬があるわけではありません。それだけに、一人一人に寄り添った丁寧な対応をしていく必要があると強く感じた講話となりました。

守田先生、ご多用な中に貴重なお話をありがとうございました。



トピック！八代支援学校での給食サポート活動



飲み込みやすいように食材をさらに小さくカットされています。（奥）

八代支援学校では、給食配膳時のサポートとして地域の方がボランティアに来られています。現在は主に中学部に対して、給食受け庫から教室の前までの給食コンテナの運搬や配膳の他、必要に応じて様々な支援を行っておられます。担任の先生方にも、授業後の子供たちへの対応に集中できるとともに好評です。ボランティアの方にお話を伺うと、

「自分自身が子供たちから元気をもらえるし、楽しいです。子供たちとの会話が日に日に多くなっているのも、とても嬉しいと思います。」とのことでした。

堤校長は、「どの学校もそうでしょうが、支援学校はとにかく人手を必要としています。特に登校後、下校前の活動の支援に、より多くのボランティアの方が来てくださると嬉しいです。」とのことでした。やってみようかな、と思われる方は、ぜひ、支援学校までご連絡ください。（32-3251）



担任の先生方と情報交換しながら支援されています。（右端）

八代支援学校では安全で安心な給食を提供するため、給食の時間は特に気を使います。そのため、ボランティアが入っていた大いにはとても助かります。職員もとても喜んでいます。



堤支援学校長にインタビューしました。

《編集後記》 この「つなぐ」は保護者の皆様には安心・安全メールで配信し、市民の皆様には市のHPで公開しています。また、今年度からは八代市立小・中・支援学校の職員の皆様お一人お一人にも送信しています。これからなお一層地域学校協働活動が充実できるよう、皆様のご意見をお待ちしています。生涯学習課 30-1110までご連絡ください。（事務局より）